

目次

第 1 卷

導入	8
中世民衆的異端の歴史的概要	8
異端の歴史資料	59
翻訳上の注意	70
西ヨーロッパでの初期の異端の出現	72
1. フランス、イタリア、スペインでの初期の異端の痕跡	72
A. ルータールと蜂	73
B. ラヴェンナのヴィルガールとその他の騒乱	74
2. アキテーヌの「マニ教徒」	74
3. オルレアン of 異端	75
A. アデマー・ド・シャバネの報告	76
B. シャルトルの修道士、ポール of 物語	77
4. アラス・カンブレ of 司教による異端 of 改宗	82
5. モンフォルテ of 異端者	86
6. シャロン・シュル・マルヌ of 異端とワゾー司教	90
11 世紀後半から 12 世紀中期 of 間の異端 of 発展	95
7. ラミルダス: 異端者? または改革者?	95
8. タンケルム of 異端	96
A. ユトレヒト of 参事会による告発	98
B. タンケルム of 影響とその死	100
9. ソワソン近く of 「マニ教徒」	101
10. トリール近く of イヴォア of 異端	105
11. ル・マン of アンリ	107
A. ル・マン of アンリ	109
B. ピサ会議以前 of アンリ	114
12. アンリ of 誤りについてある修道士 of 記述	115

13.	ブリュイのピーターの教え	117
14.	アンリに対抗するクレヴォーのベルナール	121
	A. ベルナールによるアンリの非難	122
	B. トールーズでのベルナルの布教	125
15.	クレヴォーのベルナールへの訴えと、返信での説教	126
	A. ケルンの異端に対するシュタインフェルトのエーベルヴァイン の訴え	127
	B. 異端者に対するクレヴォーのベルナルの説教	132
16.	ペリグーからの警告	138
17.	リエージュから教皇への嘆願	140
18.	ブルターニュのウッド	142
	A. 匿名の年代記者によるウッドの記録	143
	B. ニューバラのウィリアムによるウッドの記録	143
19.	ブレッシアのアルノー	146
	A. ソールズベリーのアールノによるアルノーの評価	147
	B. アルノーのローマでの影響と、フライジングのオットーによる 彼の死の記録	149
	訳者あとがき	152

第2巻

イタリアでの異端の拡大(1160-1216年)

南フランスの異端(1155-1216年)

北ヨーロッパの異端運動(1155-1216年)

第3巻

13世紀、14世紀前半の異端(1216-1325年)

13世紀、14世紀のカタリ派文献